

羽幌みんなで作る自然空間協議会

地域の自然や生きものとともに暮らすことを学び体験する

活動分類

■教育・子育て

活動背景・目的

町民自らの意思と力で、教育・学び・憩いの場として原体験できる環境を作る

平成16年1月に以下の理念で協議会が発足しました。公園を作り上げて行く過程をとおして、力をあわせることの大切さや地域の自然について学ぶ。いきものと共生する空間(ビオトープ)を作り上げることから地域の人々が、自らの生活空間など地域全体に「いきものとともに暮らす地域づくり」の芽をつくり広げる。もともと地域にあった自然環境を呼び戻し、希少になりつつある生き物を守る。町民が自ら考え 自ら行動し 自らの手でビオトープを作り上げる。

代表者:金田 幸太郎

連絡先:

事務局 北海道海鳥センター

〒078-4116 苫前郡羽幌町北6条1丁目
TEL:0164-69-2080 FAX:0164-69-2098

活動地区:羽幌町

活動内容

- ・自然空間はぼろ(ビオトープ)の建設
- ・生きもの調査・観察会

【自然空間はぼろの建設】

民間企業の助成金や地域企業や個人から寄附金や資材をいただきながら造成事業が平成16年から始まりました。今では、地域のロータリークラブや漁協女性部など年間行事として植樹会を行っています。植樹する木は、北海道の在来種にこだわり、7年間で6100本を超えました。また、草花は水田と隣接しているため、水田に影響が出ない種類を植えています。地域の人々と力を合わせて自然空間はぼろの建設を進めています。

【生きもの調査・観察会】

羽幌高校の生徒や、海鳥センタージュニアレンジャーの子供達と協議会のメンバーで生きもの調査や、町民観察会を実施しています。

※この間の功績が認められ、令和元年度北海道社会貢献賞(森を守りみどりに親しむ功労者)を受賞しました。



「自然空間はぼろ」の完成予想図

羽幌みんなで作る自然空間協議会



▲羽幌高校生徒による植樹の様子

今後の展望・課題など

○展望

- ・地域の人々が力をあわせて、自らの意志と力で、教育と学びと憩いの場として原体験できる環境をつくりたい。
- ・作り上げて行く過程をとおして、力をあわせることの大切さや地域の資源や自然環境について学ぶ機会をつりたい。
- ・ビオトープ作りをとおして、自らの生活空間など地域全体に「いきものとともに暮らす地域づくり」の視野を広げたい。
- ・地域のもとからあった自然環境を呼びもどし希少になりつつある生きものを守りたい。

○課題

- ・木を植えても10年、20年たたないと大きくならないため、それと同じ速度で次代を担うリーダー、後継者に育てること。
- ・自然空間はぼろの維持管理。
- ・会員を募集中です(個人会員 年会費500円、法人会員 年会費2000円)。